

# 昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1945年6月

Q. どこでしょうか？



(写真番号：92-03-1をカラー処理)

A. 那覇市牧志付近



地図を表示

**写**真をよく見ると、遠方左側に武徳殿がみえ、右側には久茂地川沿いにあった電気会社の煙突がみえます。これをヒントにおよその場所がわかります。どうやら、手前右側の丘は崇元寺の東側（安里公園付近）のようです。これらの位置から推定して、おもろまちにあるシュガーローフ・ヒル付近から牧志方面を撮影した写真と思われる。写真左側には煙がたちこめている様子がみえ、まだ沖縄戦の最中と思われる。

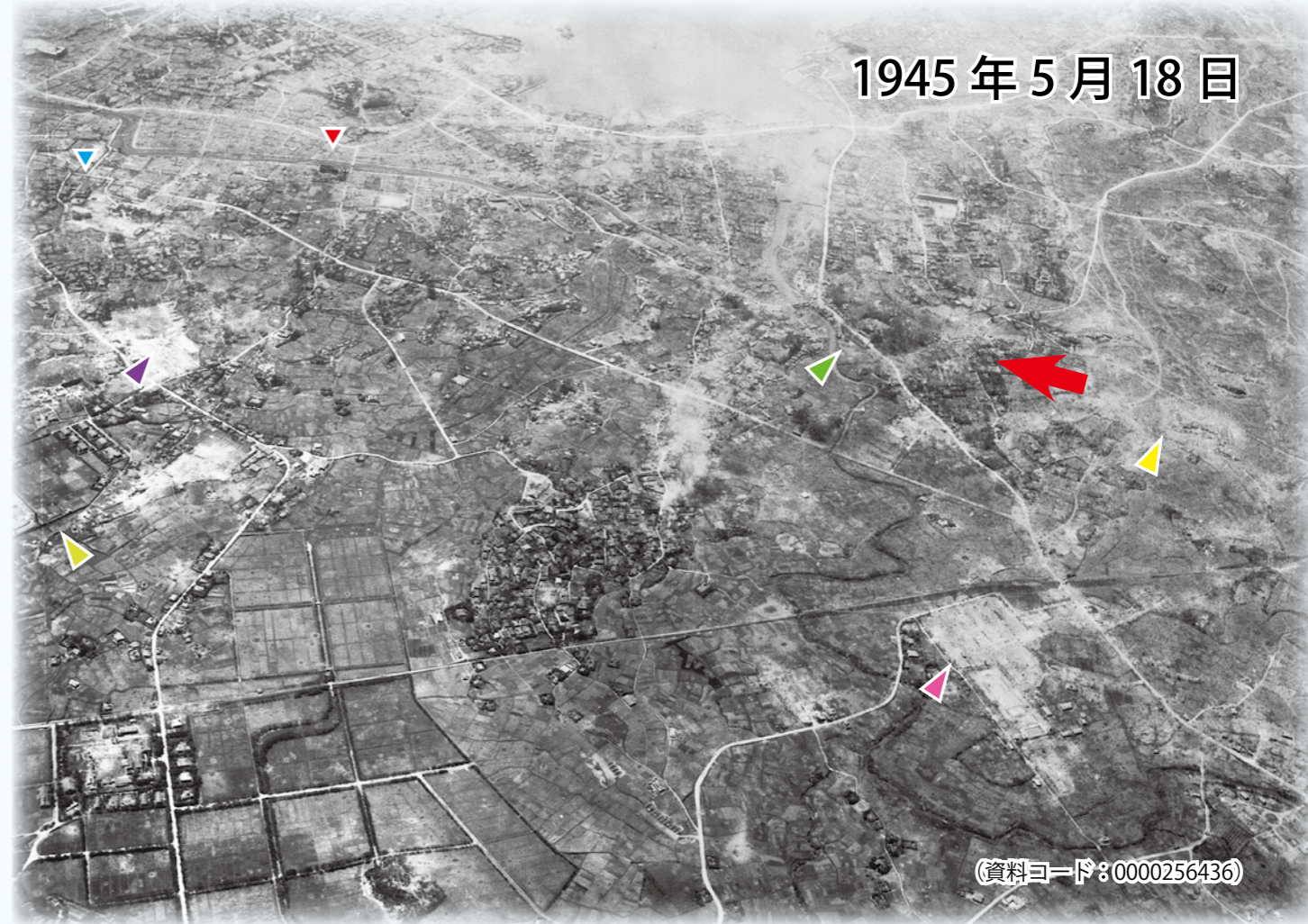
1945年2月28日



**表**紙で示された場所を米軍上陸前の那覇市の空中写真(1945年2月)からみてみます。表紙の写真は赤矢印の方向から撮影したものとされます。▲は慶良間チーズ(シュガーローフ・ヒル)、▲は崇元寺、▲は沖縄師範学校女子部・沖縄県立第一高等女学校、▲は沖縄県立第三中学校、▲は刑務所です。▼は電気会社、▼は武徳殿、▼は鉄塔が点在する地域です。

(資料コード:KS00000073 [ON24146005-2])

1945年5月18日



(資料コード:0000256436)

前頁の米軍上陸前の写真と同じ地域を戦中(1945年5月18日)の空中写真で俯瞰してみました。表紙の写真は、赤い矢印からの撮影とされます。それぞれの三角印は、前頁と同じ位置にあります。蛇行している川は、安里川で、近くに、現在の国際通り、安里三叉路などが確認できます。写真左下は、現在の与儀公園。中央部の集落は壺屋になります。

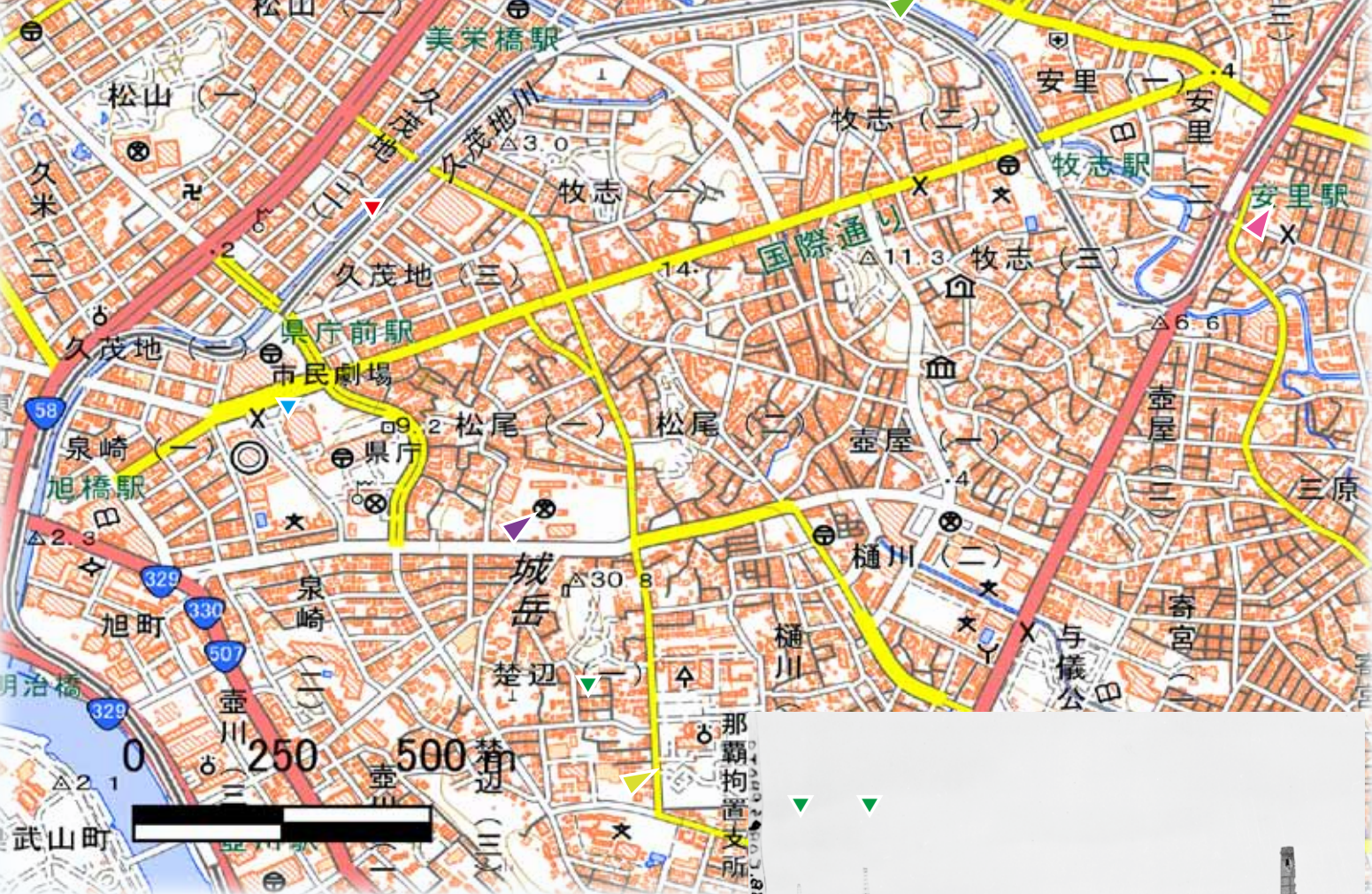


①パノラマ撮影している合計5枚の写真をつなぎ合わせてみました。写真左端▲は牧志ウガン(牧志公園)とされます。わずかですが、蛇行している安里川▲がみえます。背後から伸びている道は現在の国際通りとされます。遠景に見える▼鉄塔(かすんでいます)、▼武徳殿、▼電気会社を空中写真と同じ色で示しました(1945年6月)(写真番号:92-17-1,91-40-4,92-16-2,92-03-1,91-17-2を接合)



②武徳殿（1945年5月、図中▼）（写真番号：74-29-2）

③電気会社（1945年6月、図中▼）（写真番号：06-51-1）



前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。現在の首里城付近になります。地図上の矢印や三角印は空中写真とほぼ同じ位置になります。また、写真②③④に武徳殿、電気会社、鉄塔を示しました。

④刑務所の建物の左側背後に鉄塔▼がみえます。近くにはまだ鉄塔が残っていたようです（1945年6月5日）（写真番号：87-26-3）

昔おきなわ風景探索 No. 12

発行日：令和7年（2025）7月14日  
 編集執筆：当山昌直（1951年生）  
 発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課  
 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内  
 電話（代表）098-888-3875 FAX:098-888-3879  
 増刷版 ※一部修正しました

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

